

Power Appsの動作プロパティ処理の順番

PP ログ



本イベントのサポーター様 (アルファベット順)













株式広島情報シンフォニー

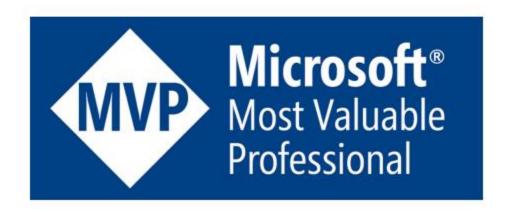


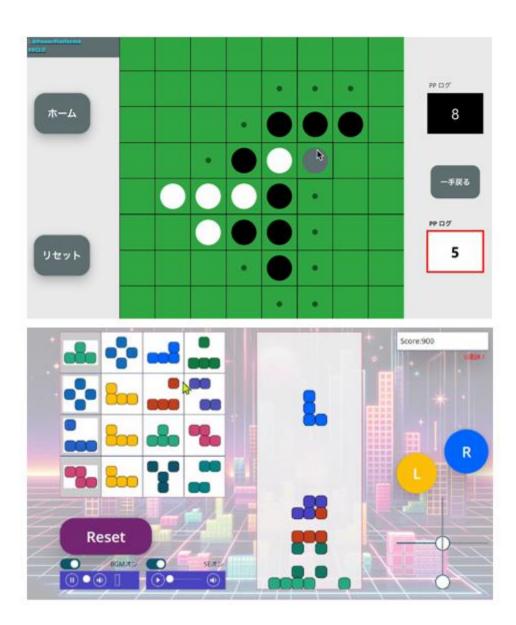
X(Twitter):

https://twitter.com/PowerPlatform4

Blog:

https://powerplatformnikki.com/





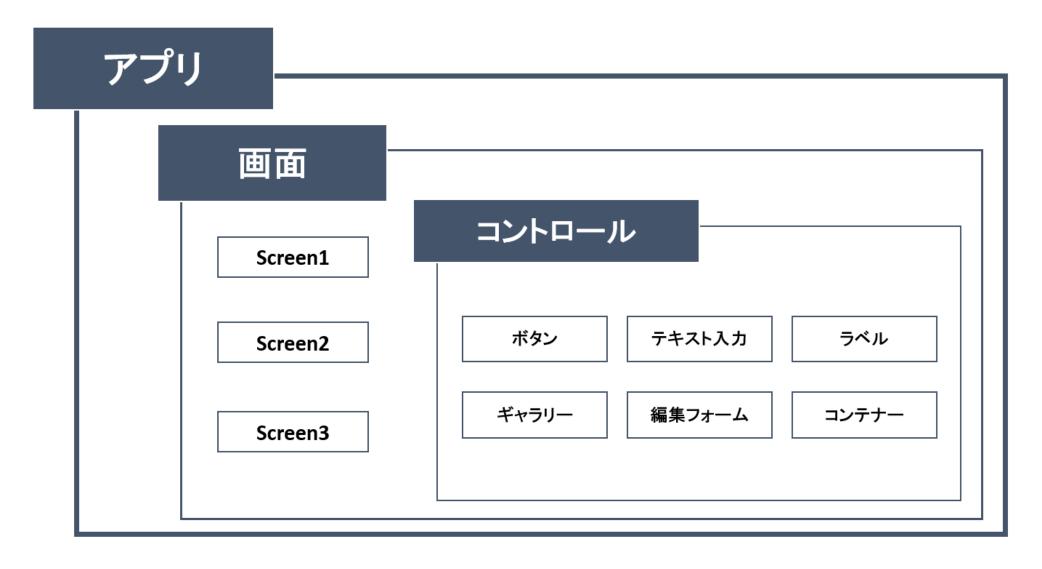
Content

- Power Appsにおけるプロパティ
- 主要な動作プロパティの実行タイミングと処理例
- ・ 処理順に関連する不具合原因例
- 対策 対処

Power Appsにおけるプロパティ

アプリのオブジェクトは階層構造になっています





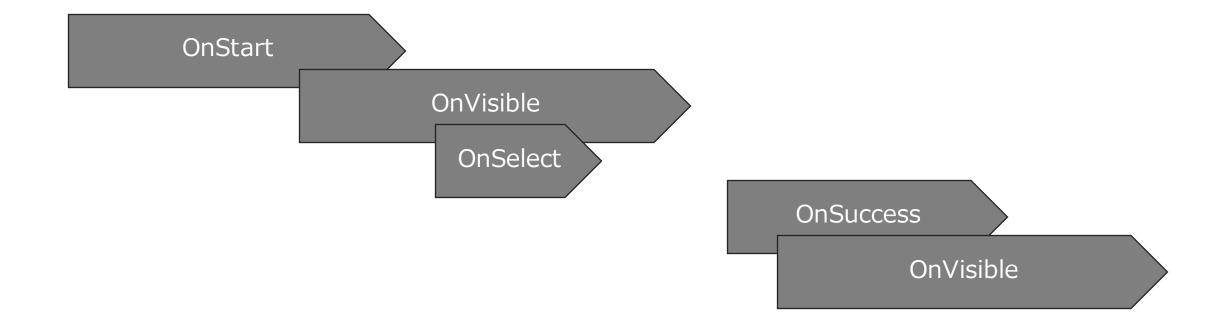
オブジェクト一つ一つに「プロパティ」が複数個存在します



	入力	出力	動作
Арр	Theme	ActiveScreen	OnStart
Screen1, 2, n	Heitht / Width	Name	OnVisible
ボタン	Text	Pressed	OnSelect
コンボボックス	Items	Selected	OnChange
編集フォーム	Item	LastSubmit	OnSuccess

どのタイミングでどのプロパティの処理が実行されるか知っておかないと、不具合の原因になる可能性があります





Power Appsにおけるプロパティ

主要な動作プロパティの実行タイミングと処理例



実行タイミング

処理例

OnSelect

ボタンなどのコントロール押下時

- ・保存、削除、更新などの処理
- ・画面遷移

OnChange

入力/選択内容の変更時

・入力/選択内容の保存

OnVisible

画面の表示時

・表示値の初期化

OnSuccess

フォームの保存成功時

・保存成功アラートの表示

・Back関数の実行

OnStart

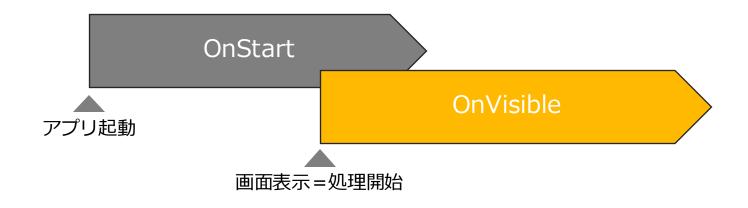
アプリの起動時

・定数の定義

処理順に関連する不具合原因例

不具合原因例① OnStartの実行結果を待たずにOnVisibleが実行される

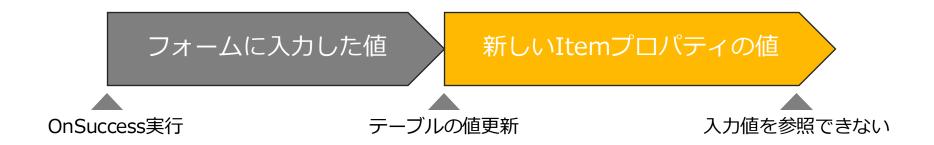




OnStartに長い処理を書かないようにしましょう

不具合原因例② OnSuccessで編集フォーム内コントロールの値を参照

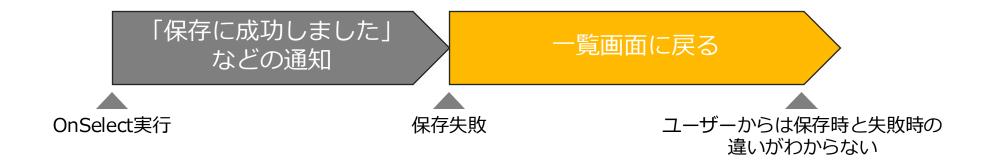




LastSubmitプロパティや変数を利用しましょう

不具合原因例③ データ保存成功時の処理をOnSelectに書いてしまう





保存成功時の処理はOnSuccessに、 失敗時の処理はOnFailueに記載しましょう

対策・対処

対策・対処

- ・動的な変数は**名前付き計算式**を利用する
- まとめて作りすぎない。小さな単位でテストする
- ・監視や開発者ツールのNetworkを使用して処理をモニタリングする
- ・処理の間に一時的な変数更新処理を入れて値を確認する

Japan Vonar Vlassonn Community Caravan

